

# 感染管理ベストプラクティス

# 環境整備（災害時）

		準備			処置									終了後					
電気	水	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
○	○																		
×	○																		
○	×																		
×	×																		
		手指衛生	必要物品の準備	ハリアプレコーション	未滅菌手袋をつける	窓の開放	ダスターによる粉塵対策	クロスによる湿式清掃	高頻度接触部位の湿式清掃	電源が取れる場合は、掃除機による集塵	水を使用し粉塵が舞わない様に拭く	換気終了後窓を閉じる	使用物品の廃棄	手指衛生	未滅菌手袋の着用	清掃用具の浄化	使用物品の廃棄	玄関マットを置く	手指衛生

ベストプラクティス：問題解決のための優れた実践例

赤字：EBMに基づき強く推奨されているところ













## 環境整備(災害時)

手順		潜在的危険 (危害を及ぼすであろう現象)	重要度の判断根拠 (ガイドラインや文献等)	感染管理 重要度	潜在的危険の 発生要因	防止措置
15	清掃用具の浄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湿潤状態で放置すると、細菌が増殖して汚染の原因になる。</li> <li>・湿ったままのモップを使用すると菌を再度床に塗りつけてしまう可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モップは、次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒し、除菌洗浄後に乾燥させる。</li> <li>・湿ったままの放置は菌を増殖させる。</li> <li>・床の清掃には、汚れたモップを何度も使用すると汚染の拡大につながるため、清掃用具を清潔に使用する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れたまま清掃用具を放置する。</li> <li>・水濡れしたままモップなどを保管する。</li> <li>・モップに残存した細菌が増殖し、接触した時の伝播の可能性が高くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モップを洗浄し完全に乾燥させる。</li> <li>・清掃カートや清掃用具の埃や汚れを除去し清潔に保管する。</li> </ul>
16	使用物品の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業終了後は、使用した備品を廃棄する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用した物品の放置による汚染した物品から環境・設備へ汚染が拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未滅菌手袋の表面に触れないように脱ぎ、廃棄する。</li> </ul>
17	玄関マットの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埃や汚泥による空気清浄度の悪化。</li> </ul>		重要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埃や汚泥による粉塵の浮遊や汚れの飛散と残存。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の入り口に設置することで外からの粉塵や汚泥を低減することができる。</li> </ul>
18	手指衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚い手のままでドア等に触らない。</li> <li>・汚染された手を介してほかの患者や環境が汚染してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手袋をした手指で不用意な部位を触らない。</li> <li>・清掃後は必ず手指衛生を行う。</li> </ul>	重要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染された手で環境表面に触れる。</li> <li>・手袋を外す時に手袋表面に触れる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未滅菌手袋の表面に触れないように脱ぎ、手指洗浄剤を用いて手洗いをを行う。</li> </ul>

### 参考文献

- 1) CDC:医療現場における隔離予防策のためのガイドライン(2007)
- 2) CDC:医療現場における環境管理のためのガイドライン(2003)